

No.5

太平洋学園

コミュニティ協力隊

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 28 日

1 団体の名前

ふりがな	たいへいようがくえん こみゆにていーきょうりよくたい
団体の名前	太平洋学園 コミュニティー協力隊

2 活動のテーマ

がくない ちいさ みな 学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ～自分たちで行う防災～

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月	旭地区防災食プロジェクトのみなさんの避難所疑似体験活動に参加。救急救命講習を受講。寝床づくりをお手伝いをしたのち、みなさんと防災食体験。 愛宕商店街フィールドワーク①
7月	江ノ口小学校にて行われた江ノ口防災祭りに参加。 防災グッズの使い方、火災時の煙を再現したテント、起震車、消火器の体験、防災食試食。防災を楽しみながら学べるゲームで地域の方と交流。
8月	太平洋学園高等学校の体育館で、避難所疑似体験学習を実施。教室にて研修。その後、体育館にて防災食体験、防災時のトイレ体験などを。消防団・土佐塾広報部の皆さんも参加。寝床を作り宿泊。 平成31年度高知県高校生津波サミット参加。
9月	潮江小学校にて行われた潮江防災祭りに参加。東北大学の学生の方々と一緒に防災かるたなどの防災学習ゲームを多くの年代の方々と実施。大鍋で大量の防災食作成を体験。 愛宕商店街フィールドワーク②
10月	活動報告をまとめたパネルを制作。会報誌作成。 防災啓発のメッセージとオリジナルキャラクターの入ったティッシュを制作。
12月	太平洋学園高等学校学園祭にて、活動報告をまとめた資料の展示。 愛宕商店街フィールドワーク③
令和2年1月	太平洋学園高等学校駐車場にて起震車体験。
2月	太平洋学園高等学校体験発表会で活動内容を発表。 教室にて、パネル展示、ティッシュの配布。
2月	太平洋学園高等学校にて、ガラス飛散防止フィルムの講習・体験。 愛宕商店街ポスター制作 愛宕商店街フィールドワーク④

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

<感想>

今年度は3年目の活動になり、今年度の活動目標でもある私たちにこそできる防災を頑張ってきましたが、例年よりも一歩踏み込んだ活動を数多く体験できたように感じています。より多くの人と関わるこそが意味のある活動になるということを強く感じた一年となりました。多くの人と関わるということは想像していたより苦勞がありましたが、私たち皆が協力することができるようになったと思います。協力する、多くの人に関わるこそが防災活動に役立つということがメンバーの皆が感じた事です。これらの経験を後輩に伝えていけるようこれからも頑張っていきたいです。

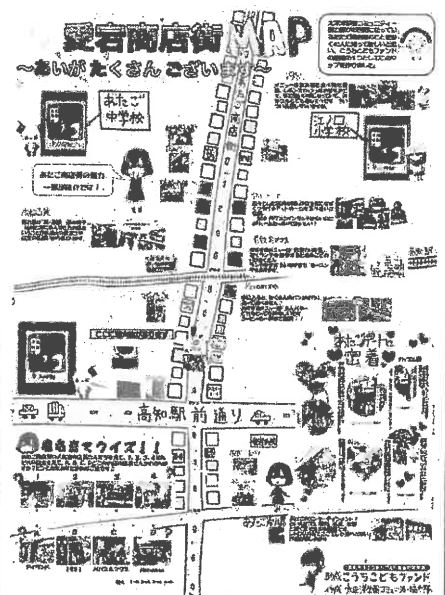
<まちがよくなったと思うこと>

地域の方々、本校の生徒やこどもファンドの活動をしている他の団体の方々など、昨年度よりも多くの人々に関わる機会多かったことで、私たちの活動を多くの人に知ってもらうことができました。また、皆さんの活動を見ること、参加することで私たちの活動をより良い活動にすることもできたと感じています。地域の人たちが私たちの活動を知ってくれて、「がんばってるねえ」「また一緒に勉強しましょうね」など声をかけて下さることが本当に多くなりました。私たちの活動で、地域の人々が繋がっていくことになったと感じています。

5 今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

私たちの活動は今年で一度節目を迎えます。これまで多くのことを学んできました。こうちこどもファンドでの活動を通じて、もっと今やっていることを続けなければいけない、もっと地域と密着した状態が続かなければいけない、ということが重要だと感じました。私たちは今までの活動を続けていくことが重要になると思います。私たちが感じた事、やってきたことを、より多くの方々に知ってもらうためにも、啓発の活動をメインに地域の方々にもっと発信していけるよう頑張らないといけないと感じています。来年以降もいままですてきた地域と皆さんとの活動・交流を続ける、より増やせるよう頑張ります。これまでした活動をより良いものにできるよう、続くように、伝えていきたいと思っています。

6 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



太平洋学園コミュニティー協力隊

令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000円	163,284円	
	PTA負担金	7,000円	7,000円	体育館使用料
			円	
	合 計	207,000円	170,284円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	マグカップ作成	40,000円	0円	作成しませんでした (手持ちの機械が故障のため)
	ポスター作成	60,000円	75,900円	野外展示用ポスターA1 5,060円×15枚
	防災食体験	20,000円	26,220円	ガスコンロ 14,631円 防災食 11,589円
	避難所体験謝金	23,000円	30,000円	コーディネート・防災用品使用料 27,500円 交通費 2,500円
	体育館使用料	24,000円	7,000円	PTA負担金 7,000円 + 残りの金額はご厚意
	会報誌代	15,000円	14,500円	A4コピー用紙 4円×500枚 全カラー印刷 25円×500枚
	パネル作成	10,000円	13,516円	スプレートのり 1,958円×2本 800円×12枚
	公民館使用料	5,000円	0円	コロナウイルスにより中止としました。
	雑費	10,000円	1,988円	燻製づくり 網代 321円×2枚 炭 430円 串 181円 チップ 735円
	防災啓発用ティッシュ作成	0円	1,160円	A4コピー用紙 4円×40枚 全カラー印刷 25円×40枚
	合 計	207,000円	170,284円	

成果発表パワーポイント

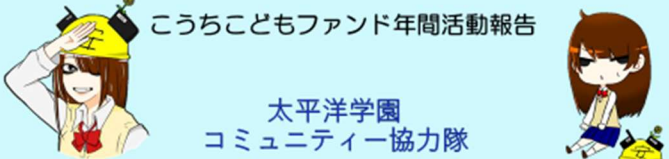
高知市子どもまちづくり基金助成事業

こうちこどもファンド

学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ
～自分たちで行う防災～

こうちこどもファンド年間活動報告

太平洋学園
コミュニティー協力隊



活動の目標

今まで・・・

- ・被災地訪問
- ・啓発活動
- ・避難所シミュレーションキャンプ



↓

自ら行動する防災を 学校、地域に広める

年間活動	
① 実施時期	② 活動の内容
7月	被災地訪問プロジェクトのみなさんの経験や感想を活動に盛り込み、防災教育の調査を実施。防災づくりをお手伝いしたのか、みなさんと防災体験。
7月	愛宕商店街フィールドワーク① 住ノロ小学校にて行われた「防災避難」に参加。 防災グッズの使い方、火災時の煙を回避したテント、避難車、 油火器の体験、防災避難。防災を楽しく学べるゲームで地域の力と交流。
8月	防災避難の体験、防災避難。防災を楽しく学べるゲームで地域の力と交流。 太平洋学園高等学校の生徒、避難所シミュレーションキャンプに参加。その後、休日に 防災避難の体験、防災避難など、地域の力と交流。避難所シミュレーションキャンプに参加。
9月	愛宕商店街フィールドワーク② 避難所シミュレーションキャンプに参加。東北大の学生の方と一緒に防災に関するなどの防災学習。 ゲームを多くの年代の方々と実施。大人数の防災学習会を実施。
10月	愛宕商店街フィールドワーク③ 活動報告をまとめたパネルを制作。公開展示。
12月	愛宕商店街フィールドワーク④ 太平洋学園高等学校の生徒、活動報告をまとめた資料の展示。
令和2年1月	愛宕商店街フィールドワーク⑤ 太平洋学園高等学校の生徒、活動報告をまとめた資料の展示。
2月	教室にて、パネル展示、ディッシュの配布。 太平洋学園高等学校にて、ガラス製防災フィルムの講習・体験。
2月	愛宕商店街フィールドワーク⑥ 愛宕商店街フィールドワーク⑥

フィールドワーク (7、9、12、2月)

今年度3回活動
をしています！

- ・ 商店主への防災意識の聞き取り
- ・ **あたごMapの作成**



情報交換がされる要となる可能性
地域との関係づくり

7月 江ノ口防災祭り

- ・ 防災グッズ
- ・ 火災時の煙再現テント
- ・ 起震車



- ・ 消火器
- ・ 防災食体験
- ・ 防災ゲーム



8月 避難所疑似体験学習



2年目になりました。



地震や洪水などの災害が発生した場合、被害が収束するまで学校や近隣の避難所で避難生活を送ることになる。そこで、今回実際に太平洋学園の体育館で避難所疑似体験を行い、避難生活に於ける備えの必要性や避難生活の工夫などを学ぶ。

防災キャンプ①

- ・避難所学習会
- ・避難所かるた
- ・防災食体験



防災キャンプ②



保存ができてしかも美味しいです♪

- ・自家製段ボール燻製器で保存食作り
- ・パイプ椅子を使ったベッド

聞き取りと体験を両輪にした活動

防災キャンプ



9月 潮江防災祭り



- これまでの経験を伝える
→「防災かるた」

- 老若男女それぞれに合わせて情報を伝える



10・12月 啓発活動

- 防災啓発のオリジナルティッシュを制作。学園祭にて配布。
- 学園祭でパネル展示



生徒がデザインしました！



2月 体験発表会

- こどもファンドの活動報告
- オリジナルティッシュの配布
- 廊下にパネル展示



2月 あたごMAPはる

- ・取材を受けて頂いた店舗にマップを配布



愛宕の魅力を紹介
しました♪

よろこんでいただきました

今後の課題

- ①主体的に行う防災
- ②地域の方々に還元する
- ③3年間の活動を今後も継続



ご清聴ありがとうございました



愛宕商店街MAP

～あいがたくさんございます～

太平洋学園コミュニティ
協力隊がお世話になってい
るあたご商店街のことを多
くの人に知って欲しいと思
い、こうちこどもファンド
の活動の1つとしてこのマ
ップを作りました。



津波避難ビル



あたご
中学校



あたご商店街の魅力
一部ご紹介です！



広松百貨

売れ筋は「鍋・茶器」「藤の椅子」。
地域と共に歩んできたお店と
いうことが品揃えの豊富さや
店主の気遣いから伝わります。



1981

メニューは飲み物も食べ物も豊
富。しモンスカッシュはおすすめで
す。また憩いの場になっていて、み
なさんとても楽しそうです。つい
つゝ長居しちゃいますね。



江ノ口
小学校



アイランド

広々とした店内は爽やかな目を気にせず
くつろげるアットホームな落ち着いた
空間。
500円ワンコインランチは安いのに
ボリュームたっぷりです。



パパス&ママス

おすすめメニューは「日替わり弁当」
安くランチを提供するためのこだわ
りがたくさん。
ランチは夕方16時半まで。モーニ
ングもあります。



高知駅→

Monamona

中に入ると、たくさんのパンがずらり。
迷って選べません！
おすすめメニューは「あんバター」。
どれをとっても美味しいです。
コーヒー一杯まで無料！！



マジックバス



津波避難ビル



店名当てクイズ！！

あたご商店街の人気店の店長さんたちを見て、1. 2. 3. 4. どれ
どの店主を見て、A. B. C. D. どのお店の店長さんかわかりま
すか？ピンときたあなたはあたご通です。



答え 1→B, 2→C, 3→A, 4→D

吉田フルーツ



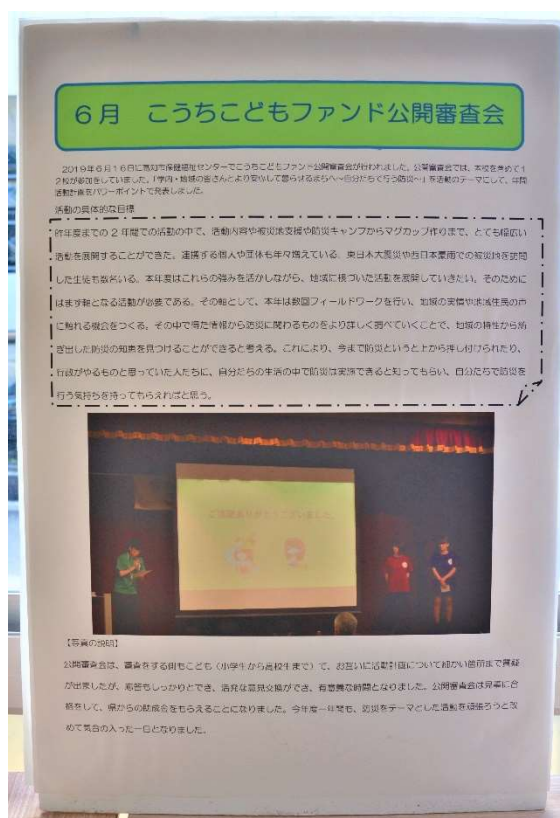
あたご劇場

あたごのエンターテインメント！
といえは、昭和、平成、令和
と続く歴史ある映画館です。
レトロな内装でどこまで見られない
作品が楽しめます。



高知市子どもまちづくり基金助成事業
助成 こうちこどもファンド
作成 太平洋学園コミュニティ協力隊

学園祭展示パネル



8月 防災キャンプ

今年度の活動の中心である「太平洋学園 防災キャンプ 2019」を、2019年8月30日(金)～8月31日(土)にかけて実施しました。防災キャンプの目的は「昨今、全国的に災害が続いて発生しており、平成30年7月豪雨では高知県でも洪水の被害が出ている。地震や洪水などの災害が発生した場合、南東が収束するまで学校や近隣の避難所で避難生活を迫られることになる。そこで、今回実際に太平洋学園の体育館で避難所体験を行い、避難生活における備えの必要性や避難生活の工夫などを学ぶ。」でした。

スケジュール

8月30日(金) 15:00 学校集合

15:30 避難所学習

『東日本・熊本の避難所の様子』

17:30 防災体験

19:00 就寝準備

21:30 就寝

8月31日(土) 6:30 起床

7:00 振り返り

8:00 解散



避難所学習では、東日本・熊本の避難所の現状について学びました。また、避難所で実際にあった出来事について、生徒、地域の方々でグループを話し合い、そのような災害にはどのようなことができるのかの方法や考えについてみんなで意見を出し合いました。ワークショップ後の振り返りでは、「津波の映像でたった30秒で津波の水柱が」がっているのを見て津波の恐ろしさを改めて知ることが出来た」「今回知れたことには感謝が溢れていた。場合により、この受けださずにはいられないと痛感しました。」「なかなか問題が解けず、そのときになった時、専門の方がいざその人に頼ろうかと思いましたが、」「自分自身が被災したときどうしようかと思ったり、」「災害が起きたときは、そんなに人切な人だと思いません。そして、被災したときを覚えておいておくことが大切だ。」について学びました。

8月 防災キャンプ

避難所学習のあとは全員で体育館に集まり、防災グッズを実際に使いながら、炊き出しミニ講座を行いました。お食事の中には電子レンジを使わずに調理できるものがあったりたくさん種類の防災食があり驚きました。他にも、避難所での生活を少しでも便利にするために工夫されたものがありました。中でも印象的だったのがビニール炊飯です。入れる調味料はそれぞれ工夫して何種類かの味の炊飯をしましたが、味が濃かったり薄かったりと調味料の量や種類も工夫して美味しく調理するのも難しかったです。また今回は、保存食として、段ボール製にも挑戦しました。身近にあるものを使っていざという時に保存食を作れるように準備ができました。美味しくできました。炊き出しミニ講座には地域の消防団の方、避難場所になっているコミュニティ住民の方、さらにはこうち子どもファンドと同じく活動をしている他の高校の学生さんたちが取材にも来てくれて、わいわいと交流しながら体験することができました。



8月 防災キャンプ

炊き出しミニ講座のあとは就寝準備です。避難所での就寝を想定して、段ボールを使って寝床を作りました。少しでも快適に眠れるようにパイプ椅子を使って簡易ベッドを作ったり、また、防災学習の時に、男女の就寝場所には切りを作った方がいい、ということも聞いたので、その点も工夫しました。8月末の体育館は非常に気温が高く、寝床も段ボールをひいても暑かったため寝心地も悪く、寝付くのに苦労しました。就寝時にはアイヌノを頭の下に敷いたり、段ボールで寝床を作るなど、少しでも一人でゆっくり眠れるように工夫しました。朝6時半に起床しましたが身体の疲れがとれなかったり睡眠時間が短かったりと、防災キャンプを通して避難所生活の大変さを体験しました。



9月 愛宕商店街視察

9月11日に、学校の近くにある愛宕商店街に、フィールドワークへ行きました。南海トラフ地震などの災害が起これば、人や情報が集まるのは被災者や人の命を守る商店街と考えました。商店街が地域の方々のコミュニティの中心になっていることや、情報や人のあつまる商店街で生活している人たちが災害についてどのように考え、どのような工夫や意図があるのかを聞かせて頂きました。商店街には津波の到達予想の表示が見られました。また、地域の方々のコミュニティの強さを感じました。



啓発用ポケットティッシュ



No. 6

Juvenile

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2年 3 月 2 日

1 団体の名前

ふりがな	じゅぶんいる
団体の名前	Juvenile

2 活動のテーマ

Let'sほこほこ交流会～地域のつながりに関心を持とう～

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月	ミーティング(活動予定のまとめ・文章化) チームメンバーと担当して下さった先生で集まり、今後の活動予定やタスクの設定、交流会のテーマに関する議論などを行った。
8月	朝倉ふれあいセンターへ相談 チーム内で役割分担をして、高知市朝倉ふれあいセンター図書室さんへお伺いし、交流イベントの実施に関する相談をさせていただいた。告知やスタッフの募集、会場の準備に関することなど、様々なアドバイスをいただいた。
9月	こうちこどもファンドアドバイザーの畠中洋行さんとミーティング 再度こうちこどもファンドアドバイザーの畠中洋行さんにもお越しいただき、ミーティングを実施。告知方法や出演を依頼する団体、会場についてなど、前回のミーティングよりも具体的な相談をしてアドバイスをいただくことができた。さらに交流イベントのプログラム案と活動予定の整理も行う。
10月	高知大学防災すけっと隊さんとミーティング 2回目の交流イベントで防災に関する内容を実施するため、その協力を依頼するメールを高知大学防災すけっと隊さんに送信。すけっと隊さんと具体的なイベントの案についてミーティングを行い、徐々にプログラム案を決定していった。
11月	ミーティング・告知用チラシとポスターおよび台本の作成開始 チームメンバーと担当の先生で再度ミーティングを行ったり、告知用のチラシとポスターの作成をした。さらにプログラムが決定したため、当日のスタッフの動きを文章化した台本の作成も開始した。
12月	告知・1回目交流会の実施 朝倉民生委員さんと連絡をとり、1回目の交流イベントにおける昔遊びのプログラムで協力していただけないか依頼。また、本校で中学生サポーターさんの募集も行った。さらに高知市立鴨田小学校さんと高知市立朝倉小学校さん、さらに高知市朝倉ふれあいセンター図書館さんに電話連絡で許可をいただき、完成したチラシの配布とポスターの掲示、申し込み用紙回収ボックスの設置をさせていただいた。12/7(土) 13:30～1回目交流会を実施。昔遊びをメインとしたプログラムを実施した。
1月	告知・2回目交流会の実施 高知市立鴨田小学校さんと高知市立朝倉小学校さんに修正・改善したチラシを配布させていただき、高知大学防災すけっと隊さんと当日の予定などに関するミーティングも何度か実施。この間に「読もっかこども高知新聞」の記事の作成も行った。本校にて再度サポーターさんの募集も行い、1回目のイベントの様子を受けて台本も修正し、アンケートやスタンブラリーシートなどの書類の準備、景品やお菓子といったものの買い出しも済ませた上で、1/25(土) 13:30～2回目交流会を実施。3つのブースを設置し、防災に関するプログラムを実施した。
2月	活動報告書およびお礼状の作成 今回の活動において協力していただいた方々・お世話になった方々に活動の成果を報告するための報告書とお礼状を作成中。封筒に入れて配布する予定。

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

＜感想＞

今回、実際に自分たちでイベントを開催することで、イベント開催の手順や電話の対応、準備期間や当日の役割分担についてなど、非常に多くのことを体験し、学べた。これらの経験と知識は、今後このようなイベントを実施する際だけにとどまらず、学生である現在や、働き手となる未来においても、自分で何か新しいことや事業を始める、というときには非常に役立つだろう、と思う。

何もかもが自分たちにとって初めての取り組みであったが、各小学校の先生方や朝倉ふれあいセンターの方々、こどもファンドアドバイザーの畠中さん、1回目にはイベントの出演、2回目には参加者として協力して下さった朝倉民生委員さん、そして書類の印刷から備品の準備、買い出しのアドバイスなど、私たちの相談にいつでも乗り、たくさんお手伝いをして下さった担当の先生ほか本校の皆さん、イベントの運営に会場の片付けまで手伝っていただいた高知大学防災すけっと隊の皆さんなど、多くの方々に協力していただいたことでイベントを実施でき、2回目の交流会では参加者が20人を超え、外部の方も多くきて下さった。自分たちが活動してきたことの成果が出たのだと、本当に嬉しくなった。今回の活動を通して、主催者側である自分たちも「協力」や「助け合い」の大切さを学ぶことができたのではないかな。

＜まちが良くなったと思うこと＞

- ・ 民生委員さんや小学校のPTAさん等、朝倉・鴨部地区の組織としっかりしたコンタクトを取ることができ、コミュニティの繋がりを増やす事ができた。
- ・ 朝倉地区と鴨部地区の関わりはどれくらいあるのか、それにしただってどういった地域交流を行えばいいのか、隣接する地区同士はお互いにどのようなイメージや意識をもっているのかなどに関して、朝倉・鴨部地区の組織にインタビューすることで、地域の現状をある程度把握することができた。
- ・ 今回の交流会を実施したことで、避難所で会った時にお互いの顔を覚えている人がいるかもしれない、ということも挙げられるが、一番まちが良くなったのではないかなと思うことは、2回目のイベントで実施した防災クイズや人生ゲームなどで、参加者の防災に関する知識が共通に深まったということ。共感できること、つまり共通の認識や見解（今回であれば災害および防災に関する共通の知識）があると、いざというときにもスムーズに協力することができるのではないかな。そういった、「参加者の防災意識や災害の知識を深める」という意味でも、今回のイベントを実施できたことは良かったと思う。

5 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

来年度以降の活動に関してだが、自分たちは3年生になり、進路なども含めた他の活動で忙しくなるため、参加することは難しいのではないかなという意見が多い一方で、今回の活動で培ったスキルを用いてそれらの活動に取り組んでいきたい、といった声や、自分たちが今回の活動で経験したことや学んだことを次の世代に伝えたり、後輩が自分達と主旨の似たまちづくりや地域交流に関する活動を行う際の手助けをしたいといった、「次に繋げる」という意見があった。

6 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



Juvenile

令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000 円	41,351 円	
	合 計	200,000 円	41,351 円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	会場代	20,700 円	0 円	
	交流会運営雑費	50,000 円	31,900 円	4段式スタンプ110円×4個、絆創膏110円×1箱、携帯用ライト110円×20個、簡易トイレ110円×19枚、ラッピング袋110円×2セット、乾電池110円×5パック、A4バスケット110円×3個、ダブルクリップ110円×1個、お菓子1444円、ドリンク192円×1本、ドリンク214円×1本、amazonギフトカード(講師御礼品)3000円×8枚
	チラシ・ポスター紙代	5,000 円	4,039 円	光沢用紙872円×1袋 コピー用紙セット(500枚×5冊)3167円×1箱
	チラシ・ポスター印刷代	2,000 円	4,950 円	カラーインク4950円×1個
	成果報告書作成費	5,000 円	0 円	
	スピーカー等レンタル料	50,000 円	0 円	
	交流会配布資料作成費	20,000 円	462 円	コピー用紙462円×1冊
	交流会使用備品等費用	47,300 円	0 円	
	合 計	200,000 円	41,351 円	

成果発表パワーポイント

こうちこどもファンド活動発表会用
パワーポイント

1 / 35

高知県立高知国際中学校2年
神原 智美、高橋 晴香、竹森 圭、三上 輝



Juvenile
ジュブナイル

テーマ

2 / 35

**Let's
ほこほこ交流会!**

～地域の「つながり」に
関心を持つ～

活動内容

3 / 35

地域交流イベント

企画・準備・開催

7月 

4 / 35

ミーティング 

- ・活動予定
- ・イベント内容

8月



5 / 35

ミーティング



朝倉ふれあいセンター様と
・ 告知、会場、スタッフ

9月



6 / 35

ミーティング



アドバイザーの畠中洋行様と
・ 出演依頼、プログラム

10月



7 / 35

ミーティング



高知大学防災すけっと隊の皆様と
・ イベント内容

11月



8 / 35

資料作成



チラシ、ポスター、台本

11月



9 / 35

イベント準備



朝倉民生委員の皆様に
出演依頼

12月



10 / 35

イベント準備



- ・チラシ、ポスター、ボックス配布
- ・サポーターさん募集

12月



11 / 35



1回目交流会

12 / 35

12/7(土) 13:30~



・昔遊び体験



・民生委員さんにインタビュー

1回目交流会

13/35



振り返り

14/35

外部の方 ほぼいらっしゃらなかった…



・告知が遅かった



・準備にもたつた

1月



15/35

イベント準備



- ・改善版チラシ配布
- ・サポーターさん再募集

1月



16/35



1月



17/35

ミーティング



高知大学防災すけっと隊の皆様と

1月



18/35

資料作成



- ・ 台本修正
- ・ アンケート、スタンプラリーシート

1月



19/35



1月



20/35

資料作成



「読もっかこども高知新聞」記事

1月



21/35

イベント準備



景品・お菓子の買い出し

2回目交流会

22/35

1/25(土)13:30～



スタンプラリー方式

防災プログラム



2回目交流会

23/35



2回目交流会

24/35

人生ゲーム



防災クイズ



2回目交流会

25/35

ポーチ製作



2回目交流会

26/35

景品の配布



2月



27/35

資料作成



活動報告書・お礼状

振り返り

28/35

参加者は

20人超 !

振り返り

29/35

参加者同士の交流が少ない…

・アイスブレイク

・スタッフの声かけ

感想

30/35



電話の対応

準備期間

役割分担



など多くのことを学べた

感想

31/35



学生である

現在



働き手となる

未来

で

新しいことを始める時 役立つ!

感想

32/35

初めての取り組み



多くの方の協力があって成功!

「協力」や「助け合い」の大切さを学べた

成果

33/35

- ・お互いの顔を 覚えているかも
 - ・参加者の方の **知識** を深めた
- ➡ スムーズに協力できる！

成果

34/35

「次につなげる」

自分たちは忙しくなる



・今回の経験を伝える

・後輩の手助け

こうちこどもファンド活動発表会用
パワーポイント

35/35



高知県立高知国際中学校2年

神原 智美、高橋 晴香、竹森 圭、三上 輝

Juvenile

ジュブナイル

交流会チラシ

(表)

中学生企画！ 地域交流イベント

主催：「Juvenile」（とうちこどもファンド参加団体）神原、竹森、高橋、三上
後援：朝倉地区民生委員さん、防災すけっと隊さん、鴨田小学校さん、朝倉小学校さん、高知国際中学校さん

入場
無料

飛び入り
参加OK

Let's

プログラム
1回目：普遊び体験
2回目：防災リアル
脱出ゲーム
詳細は裏面にて！→

ほこほこ交流会！

会場
高知県立高知国際中学校さん
西校舎3F ランチルーム
高知県高知市鴨部2丁目5番70号



この交流会は高知市の基金をもとに運営されています

「Let's ほこほこ交流会！」申し込み用紙

当日の参加人数を把握するため、下記の選択肢のいずれかに丸をつけ、
参加人数の記入をお願いします。

1 回目に参加 ・ 2 回目に参加 ・ 両方に参加

() 人 () 人 () 人

お申し込み方法は裏面へ記載しております →

(裏)

イベント日時・内容

第1回：令和元年 12月7日（土）13：30～15：30（受付13：00より）
1. ふれあい交流ミニゲーム
2. 普遊び体験：ブースに分かれて朝倉地区民生委員さんによる指導を受けつつ普遊びを通して交流する。
体験できる普遊びはコマ回し、けん玉などを予定。

第2回：令和2年 1月25日（土）13：30～15：30（受付13：00より）
1. ふれあい交流ミニゲーム
2. 防災リアル脱出ゲーム：防災すけっと隊さんとクイズ、お菓子ポーチの製作などを含んだプログラムを行う。

～ Juvenile（ジュブナイル）の想い～

南海トラフ巨大地震などの災害時には、見ず知らずの人と一緒に避難所で生活しなければならない日々が何日も続きます。
この交流会を通して初対面の人ともコミュニケーションを取って協力できるようなスキルを身につけ、普段あまり関わることはないであろう鴨田、朝倉の2つの地域をつなげる交流会を企画しました。

注意事項
・主催者側ではイベント中の怪我等に対する保険には加入していませんので、予め保険に加入してからのご参加をお勧めします。
・会場内での飲食はお控えください。
・なお、当日は会場内に駐車場はありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

お申し込み方法

（第1回の締め切り：12月5日（木）必着、第2回の締め切り：1月23日（木）必着）

① 申し込み用紙を切り取り、高知国際中学校事務室に直接持参していただく。
② 申し込み用紙を切り取り、封筒に入れて高知国際中学校に郵送していただく。
高知国際中学校の郵便番号：〒780-8052
（※ 郵便料金は負担していただきます。）
③ チラシのオモテ面を高知国際中学校にFAXしていただく。
高知国際中学校のFAX番号：088-844-4823
④ 申し込み用紙を切り取り、朝倉ふれあいセンターか朝倉小学校、もしくは鴨田小学校に設置している回収BOXに入れていただく。

「Let's ほこほこ交流会！」 報告書

この報告書は、こうちこどもファンド参加団体「Juvenile（ジュブナイル）」が、活動にあたり協力していただいた方々に向けて「Let's ほこほこ交流会！」を実施したことによる成果を報告するために作成した文書です。

1. 活動の目的

今回の交流イベントは、参加者の方々に災害時の状況を知っていただき、鴨田・朝倉地域の防災意識向上を目指すと共に、参加者の方々にコミュニケーションを深める方法を体験していただき、いざというときにスムーズな協力ができるようにしたい、と考えて開催しました。

2. 活動の内容

7月	ミーティング（活動予定のまとめ・文章化） チームメンバーと担当してくださった先生で集まり、今後の活動予定やタスクの設定、交流イベントの内容に関する議論などを行いました。
8月	8/23(金) 朝倉ふれあいセンター様に相談させていただく 高知市朝倉ふれあいセンター図書室様へお伺いさせていただき、交流イベントの実施に関する相談をさせていただきました。告知の方法や会場の準備、スタッフの募集に関することなど、大変貴重なアドバイスを頂きました。

9月	9/6(金) こどもファンドアドバイザー様とミーティング こうちこどもファンドアドバイザーの畠中洋行様にお越しいただき、ミーティングを実施しました。告知方法や出演を依頼させていただき、会場についてなど、より具体的なミーティングを行い、多くのアドバイスを頂きました。さらに、交流イベントのプログラム案と活動予定の整理も行いました。
10月	10/29(火) 防災すけっと隊の皆さんとミーティング 畠中様とのミーティングで教えていただいた高知大学防災すけっと隊の方に連絡をさせていただき、2回目の「防災」をテーマとした交流イベントへの出演を依頼させていただきました。すけっと隊の方とは、具体的なイベントの内容について直接ミーティングも行い、プログラムを決定していきました。
11月	ミーティング・告知用チラシとポスターおよび台本の作成開始 チームメンバーと担当の先生で再度ミーティングを行ったり、告知用のチラシとポスターの作成も行いました。さらにプログラムが決定したため、当日のスタッフの動きを文章化した台本の作成も開始しました。
12月	12/7(土) 1回目交流会の実施 朝倉民生委員の方に連絡をさせていただき、1回目の交流イベントにおける昔遊び体験プログラムに出演していただけないか依頼をさせていただきました。また、高知県立高知国際中学校様で中学生サポーターさんの募集も行わせていただきました。さらに高知市立鴨田小学校様と高知市立朝倉小学校様、そして高知市朝倉ふれあいセンター図書室様に許可をいただき、完成したチラシの配布とポスターの掲示、申し込み用紙回収ボックスの設置をさせていただき、1回目交流会を実施しました。イベントの詳細は後述します。

1 月	1/25(土) 2 回目交流会の実施 高知市立鴨田小学校様と高知市立朝倉小学校様に修正・改善したチラシを配布させていただき、高知大学防災すけっと隊の皆様と当日の予定に関するミーティングも何度か実施させていただきました。この間に「読もっかこども高知新聞」さんの記事の作成も行いました。高知国際中学校様にて再度サポーターさんの募集も行い、1 回目のイベントの様子を受けて台本も修正し、アンケートやスタンプラリーシートなどの書類の準備、景品やお菓子といったものの買い出しも行い、2 回目交流会を実施しました。イベントの詳細は後述します。
2 月	活動報告書およびお礼状の作成 今回の活動において協力していただいた方々・お世話になった方々に活動の成果を報告するための報告書とお礼状を作成しました。

3. 活動の様子

1 回目交流イベント：2019年12月7日(土)13:30～15:30

朝倉民生委員の皆様にご協力いただき、昔遊び体験プログラムや民生委員の方のお仕事などについてのインタビュー活動を実施させていただきました。当日は、高知国際中学校の生徒4名の方に中学生サポーターとして協力していただきました。



2回目交流イベント：2020年1月25日(土) 13:30～15:30

高知大学防災すけっと隊の皆様にご協力いただき、お菓子ポーチの製作、防災人生ゲーム、防災クイズという3つの「防災」に関するブースを設置し、スタンプラリー方式のプログラムを実施し、景品の配布も行いました。2回目の交流イベントには、高知国際中学校の生徒1名の方に中学生サポーターとして協力していただきました。

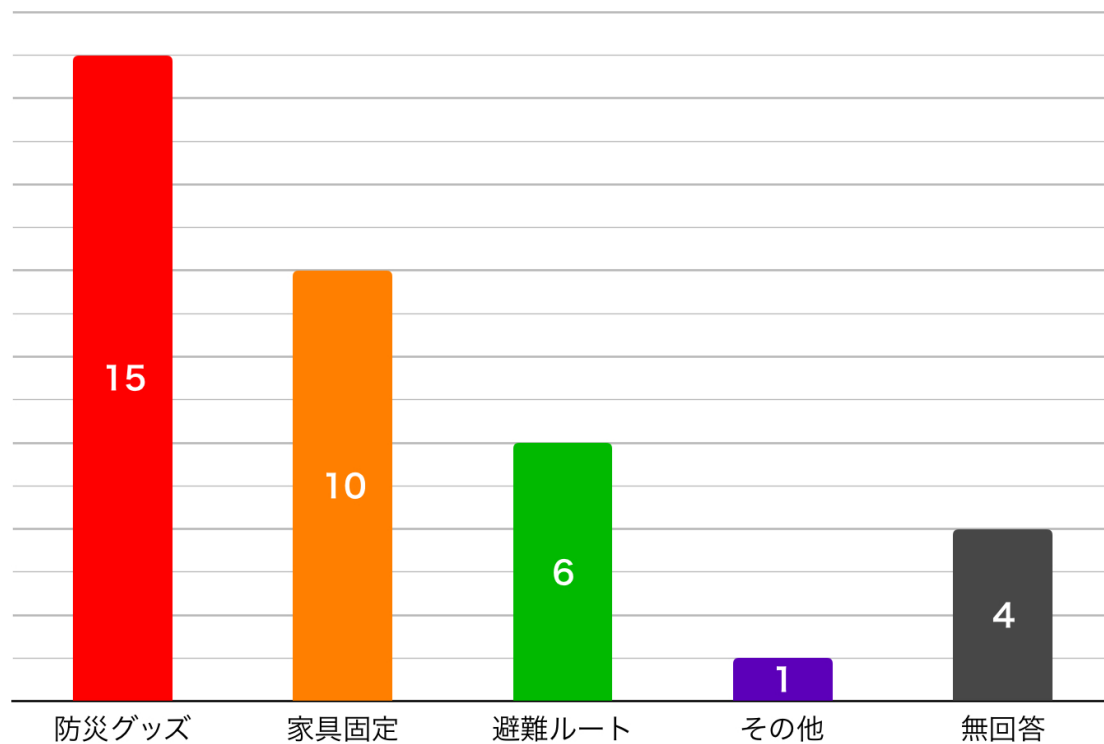




4. アンケートの集計結果

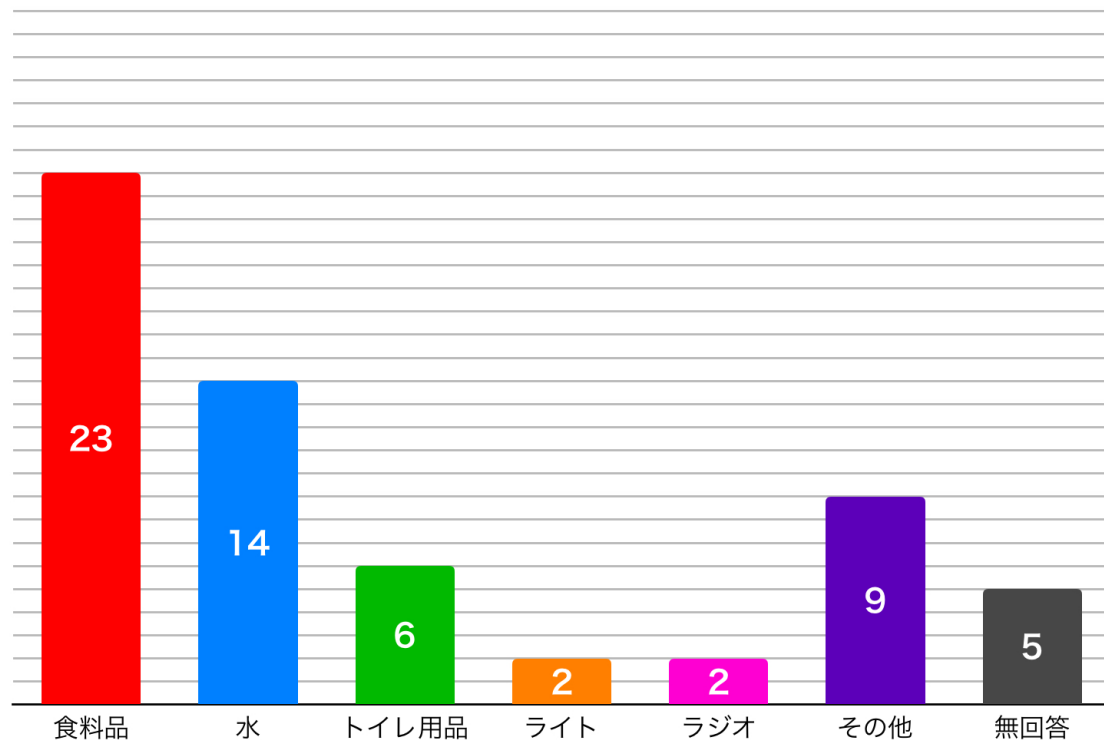
1. ご家庭ではどのような災害対策をされていますか（複数回答可）

回答数：36



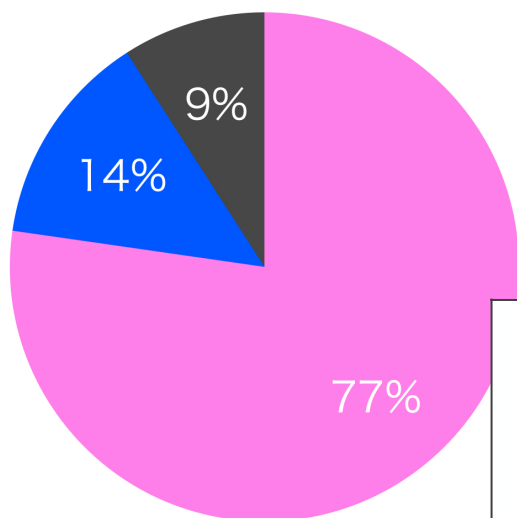
2. ご自宅ではどんなものを備蓄されていますか（複数回答可）

回答数：61



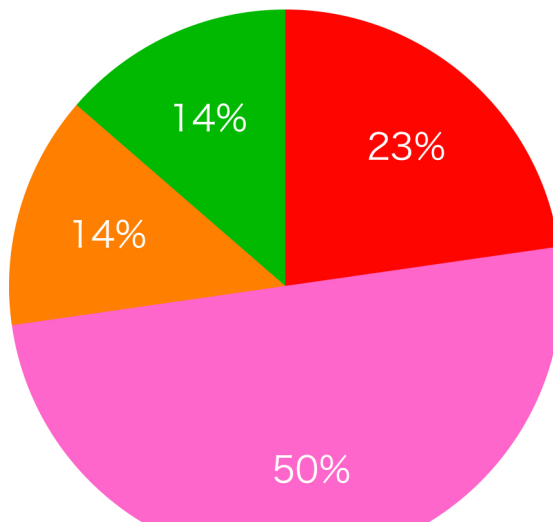
3. 自分の地域の避難所の場所を
把握していますか

● 知っている
● 知らない
● 無回答



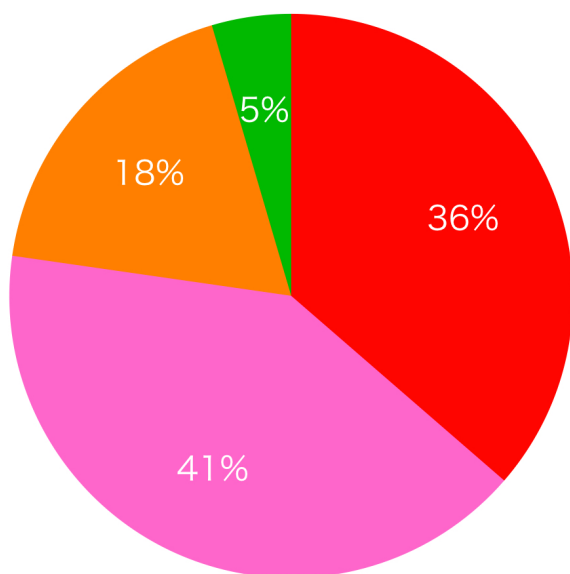
4. 今回の交流会はどうでしたか

● 最高だった
● とてもよかった
● よかった
● まあまあ



5. スタッフの対応はどうでしたか

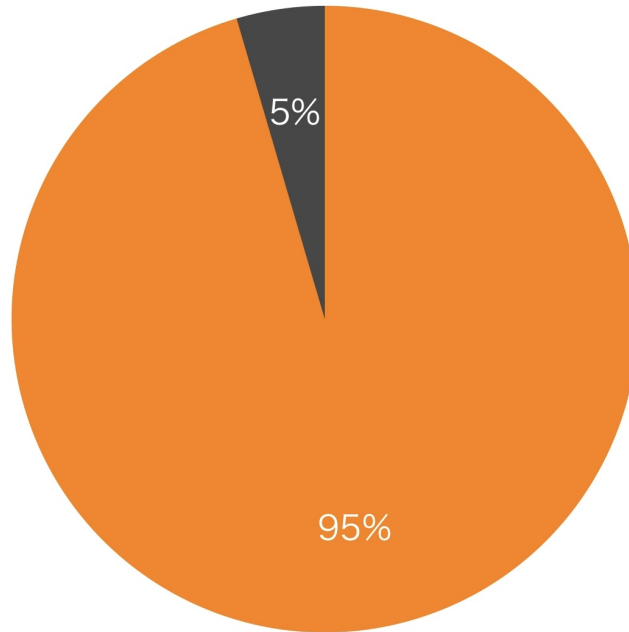
● 最高だった
● とてもよかった
● よかった
● まあまあ



設問6・7（感想欄）：「楽しく防災について学べて、とても良い機会だと思いました。」や「コミュニケーションを積極的に行うことができた。」「防災人生ゲームが工夫されており楽しかった。」といったご意見を頂きました。

8. もしこのような交流会がまたあるなら、
参加したいと思いますか

● はい
● 無回答



5. イベントの成果

今回の交流会を実施したことで、避難所で会った時にお互いの顔を覚えている人がいるかもしれない、ということも挙げられますが、一番成果が出たのではないかと思います。2回目のイベントで実施した防災クイズや人生ゲームなどで、参加者の方の防災意識や災害に関する知識を深めることができたということです。共通の知識があると、災害時などのいざというときにもスムーズに協力することができるのではないかと思います。

こうちこどもファンド参加団体「Juvenile（ジュブナイル）」



No.7

朝倉中学校生徒会

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	あさくらちゅうがっこうせいとかい
団体の名前	朝倉中学校生徒会

2 活動のテーマ

人に優しい笑顔あふれるまちづくり～ASAKURA～

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月	自分たちでコミュニケーションツール「短所を長所に変えたいやき」の検証
8月	「忠霊塔」ボランティア清掃を通して、地域の方と人見知りになる
11月	地域の民生委員の方々と共に「短所を長所に変えたいやき」の検証と展開場所の打診
12月	LEDイルミネーションの設置と検証 花の苗と共に手作り門松イラストの作成、配布
1月	エアボールゲームのセットの検証
2月	全校集会で発表

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうになくなったと思うか書いてください。

＜感想＞ 全ての活動において、笑顔の花を咲かせることができ、活動して楽しかったです。活動後には、地域の方々から電話やお礼のお手紙がもらえて嬉しかったです。予算案では、198000円という高額が認められました。しかし、高知市の税金の一部と考えると、簡単に使うことにためらいがありました。また、私たちの目標を地域を笑顔にすることが目標だったので、どのように自分たちの活動を理解してもらい、巻き込んでいくかが課題となりました。そこで、一年目の今年は、趣旨を理解してもらいながら、全ての購入物の検証が必要だと思いました。実際に活動してみて、予算を執行する責任の重さを感じることもでき、今年度の活動をさらに広げていくために、以前から行っている地域清掃などを通して、地域の方々と今以上に繋がって進めていきたいと思いました。

＜まちが良くなったと思うこと＞

コミュニケーションツールの検証を行った際には、カードゲームだが、短所を長所に置き換えて考えることで、言葉を思い出させる効果の他、相手を褒める言葉の訓練にもなり、みんなが笑顔になることができた。また、レクリエーションのエアボールゲームの検証では、小学校1年生から6年生までがチームを組んで対戦する形をとって検証したが、年齢関係なく、気持ちを合わせることで、どんどん上達することができる上に運動不足解消にもなり、どの子も笑顔になれていて良かった。花の苗の配布などを手段として、福祉施設の訪問を行ってみて、外との交流があまりないお年寄りの方々にとって、自分たちが行くことで、あんなにも喜んでもらったことで、今回を機にもっと若者とお年寄りが繋がっていけるように、次の機会を今年以上に吟味して企画していきたいと心から思いました。

5 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

今回、花の苗を育て、育てたものを配布しようと計画していたが、花壇のある中庭で工事が入る関係で花のポットという形になりました。その花のポットを二週間あまり育て、福祉施設で生活されているお年寄りの方々に年末に配布したところ、どこの福祉施設でも大変喜んでもらえて嬉しかったです。次年度も継続して行い、本年度は100ポットという量でしたが、増産したいと思いました。また、年末ということもあり、自分たちの学校予算で作った二種類の門松のイラストプリントと共に配布してみたところ、予想以上に反響があり、その点についても検証が共にできたので、次年度は予算をしっかりとて、朝倉のみでなく、少しずつ他校の生徒会にも呼びかけて巻き込んでみたいと思いました。

LEDイルミネーションは、屋外用ソーラータイプにしてみました。購入するにあたり、色々な種類があることや購入時期によって価格変動があることを学びました。また、管理面という面での心配もあることが分かり、次年度は地域の方々にも事前にプレゼンをして理解を得た上で、協力してもらえるように活動をしたいと思いました。検証では、本校の敷地の近くで行って見ましたが、散歩や用事で夜に来る方から、「可愛い！」や本校の仲間たちからは「なんか下校の夜道なのに疲れを癒してくれる」など、好評でした。ただ、この購入の対価日数がどれだけあるかが現在も検証中ですが、次年度も継続したいです。

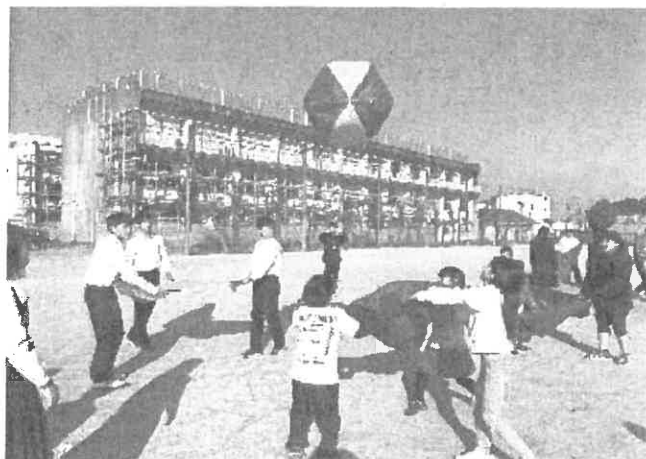
エアボールゲームセットは、①セットだけ購入してみたところ、2コート（12人）でできるものであったことや運動不足の解消や息を合わさないと上手くゲームができないのですが、年齢関係なく、協力しながら遊べるコミュニケーションツールになることが分かりました。また、検証につきあってくださった子ども会の先生や子どもたちから普段から地域にこんなセットがあると嬉しいなどの声もあり、次年度は地域防災の方にも呼びかけ、まずは「隣の人は誰」という感覚で顔つなぎにも利用したいと思いました。ただ、課題としては、11月に国立病院の分校の生徒さんや先生方と交流をしたのですが、障害が重いとエアボールではなく、ポッチャのハーフセットの方が参加しやすいのではと考え、次年度も継続したいと思いました。

「短所を長所に変えたいやき」は、お年寄りの方にも私たちにとっても、笑顔にもなりますが、非常に前向きに考えるきっかけやワーキングメモリーを鍛える意味でも有効的だということが検証で分かり、本来、この予算で購入する予定でしたが、学校予算であるセット数を購入してもらえたので、次年度は、これらをもって、地域の多くの方と交流をしたいと思います。

6活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



「短所を長所に変えたいやき」を検証している様子。生徒も地域の大人も負けん気で...



エアボールゲームで中学生をチーム力で負かす、異年齢の小学生集団。笑顔にもなるし体力向上も。



「尊敬」や「絆」などの花言葉をもつ旬の花「シクラメン」を配布。施設団体の他、地域の一軒、一軒も自分たちの足で訪れ、配布しました。
手渡した際にも御礼の言葉をもらいましたが、後日、学校に連絡をいただいたり、丁寧な御礼のお手紙をいただいたりと活動後にやり甲斐を感じることができました。



二種類のソーラーLEDイルミネーションの設置。
夜になると可愛いく光る道づくり。



朝倉中学校生徒会

令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	198,220円	198,220円	
	合 計	198,220円	198,220円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	おもてなし経費	77,820円	45,835円	花苗代 100ポット×¥280 合計¥28000 イルミネーション ¥2532×1.1=¥2,785 ¥2,785×3個=¥8,355 ¥1436×1.1=¥1,580 ¥1,580×6個=¥9,480
	レクリエーション経費	44,000円	12,802円	エアボールゲームセット ①セット ¥12802
	コミュニケーション経費	32,400円	0円	
	消耗品等雑費	44,000円	0円	
	合 計	198,220円	58,637円	

令和元年 11 月 民生委員さんとのコミュニケーションツール検証



令和元年 12 月 LED イルミネーションの設置と検証



令和元年 12 月 シクラメンの花の苗と手づくり紙の門松の配布



令和元年 12 月 エアボールゲームによる検証



No. 8

おおっ子

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 28 日

1 団体の名前

ふりがな	おおつっこ
だんたい なまえ 団体の名前	おおつっ子

2 ^{かつどう}活動のテーマ

防犯への意識が高い大津地区！

3 活動の内容

[illegible]

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

<感想>

地域の方と防犯について一緒に考えることでつながりを作ることができました。この活動を生徒会活動とつなげて、地域の方と大津地区の様々な活動を盛り上げていきたいとおもいます。

<まちが良くなったと思うこと>

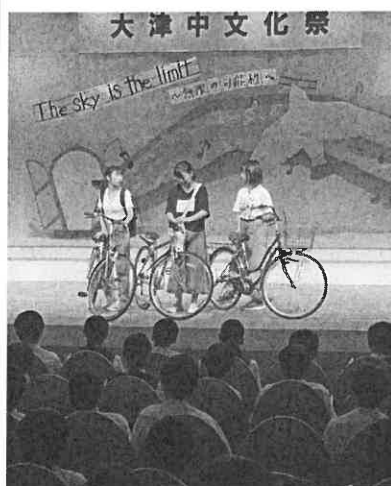
防犯のことについて一緒に考えることで、地域の知らなかったことについてたくさん知ることができました。挨拶運動なども一緒に行うことで学校外でも地域の方と活動できるようになりました。

5 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

大津地区のつながりをさらに強くするためにたくさんの行事を今以上に連携し、行っていきたいと考えています。地域の保育園や老人ホーム等にも訪問し、たくさんの方とつながりを作りたいです。

活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



団体名 おおつっ子

令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	助成金	200,000円	50,600円	
			円	
			円	
	合 計	200,000円	50,600円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	防犯劇衣装代	50,000円	1,859円	タイツ1枚、ひげ1、布1、帽子2、悪役マスク1、テープ1、バンダナ1
	Tシャツ作成費	50,000円	0円	
	広報費(防犯冊子)	20,000円	48,741円	インクカートリッジ4本、光沢紙250枚×3
	看板作成費	80,000円	0円	
		円	円	
		円	円	
		円	円	
		円	円	
		円	円	
	合 計	200,000円	50,600円	

【幕 前】



中学生の2人が、最近自転車を盗まれる被害があったことや、おばあちゃんが詐欺被害にあったことについて話している。



正しい自転車の乗り方や、犯罪被害に巻き込まれない方法を劇で学ぶことを呼び掛けて、第1幕スタート。



【第1幕 自転車の正しい乗り方】



大型量販店に遊びに来た3人の女子。
自転車をとめる場所を探している。



自転車をとめる場所は見つかったが「自転車がたくさんあるから」
と言いながら、鍵をかけずに遊びに行く。



そこに現れた正義のヒーローたち。
自転車に鍵がかかってないことに気がつく。



ふたりは自転車に鍵をかけて立ち去る。



3人が買い物を終えて帰ろうとすると・・・
自転車に鍵をかけられていることに気づき、困る。



そこに正義のヒーローたちが現れ、自転車の鍵を開く。



どうして自転車に鍵をかけたのか問う女の子たち。正義のヒーローから、「自転車に鍵をかけないと盗まれるかもしれない」ことと、女の子たちが手に飲み物を持っていたので、「片手で運転すると、自転車や歩行者にぶつかり、自分たちや相手が大けがをする危険性がある」「相手に大けがをさせたら損害賠償を支払わなければならない」ことを説明。



最後に、「大切な財産を守るためにも自転車に鍵をかける習慣をつけていく」ことと、「自分の身を守るため、人を傷つけないためにも『ながら運転』はやめる」よう呼びかけをして、第1幕終了。

【第2幕 オレオレ詐欺に注意】



左が高齢者役。右がオレオレ詐欺の犯人役。
とある日、高齢者宅に電話がかかってくる。



犯人が「オレオレ」と名乗るのを、息子からの電話と勘違いする高齢者。
「仕事でミスして、明日までに会社に600万円返さないとクビになる」



「口座番号教えるので今すぐ振り込んで欲しい」との話に高齢者が
「わかった」と言おうとしたところで正義のヒーロー登場。



正義のヒーローから高齢者に、「本当に息子からの電話だったか？」
「息子は自分から名乗ったか？」確認。



オレオレ詐欺の被害に会わないようにするには
 〈本人ができること〉⇒ 本人確認をする，知らない電話番号には注意をする
 〈周りの人ができること〉⇒ 家族しか知らない合言葉を作る，定期的に連絡をとる



正義のヒーローから，悪いことをしてはいけないと注意され，反省する犯人



「悪いことに手を染めてしまったら人生台無しになる」正義のヒーローが犯人を退治。



自分や家族がオレオレ詐欺の被害に合わないよう、対策をとることを呼び掛けて、第2幕終了。

【幕 後】



架空請求や他の犯罪にも巻き込まれないように気を付けること、
大津地区が犯罪のない地区になるよう、ひとりひとりが正しい知識
を身に付けていくことを呼び掛けて、劇終了。



目指せ防犯意識が高い大津地区！

～みんなでつくる地域の安全～

鍵閉めんと
いかんで



自転車施錠

少しの時間でも
～鍵かけ習慣をつけよう～

施錠の輪ひろげよう
カギの保管に気を付けよう

いつでも どこでも
大切なものを守ろう

特殊詐欺

～怪しい電話に気を付けて～

本人確認しよう
合言葉を決めよう
連絡を取り合おう

すぐに信用
せられんで



おおつっ子

No. 9

Co - CREATOR

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	こーくりえいたー
団体の名前	CO-CREATOR

2 活動のテーマ

望みの望海作り

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
5月～1月	毎月第2日曜日に団地内の清掃を行った
6/27	地区会に本グループの存在と活動内容を報告
7月	交通安全ポスターの作成と見出し出し コーワリター(活動報告)①を回覧板で回させてもらった
12月	火の用心ポスターを見出し出した
1月	コーワリター②と団地内共同清掃のおしらせを回覧させてもらった
2月	共同清掃のポスターを見出し出し 団地内共同清掃を行った その後、コーワリター③を回覧させてもらった

4 まちづくりの^{こうか}効果

^{かつどうご}活動後の^{かんそう}感想と、^{じぶん}自分たちが^{かつどう}活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

<感想>

月一でゴミを拾って回りましたが、全くゴミが減らない。いつも45分ゴミを3つはすくに、はいになるくらい、大量のゴミが毎月たまってました。

思えばゴミの回収捨てに関するポスターを作らなかった。ゴミ減らそうとしてたのに、月1心を忘れてたね。

<まちがよくなったと思うこと>

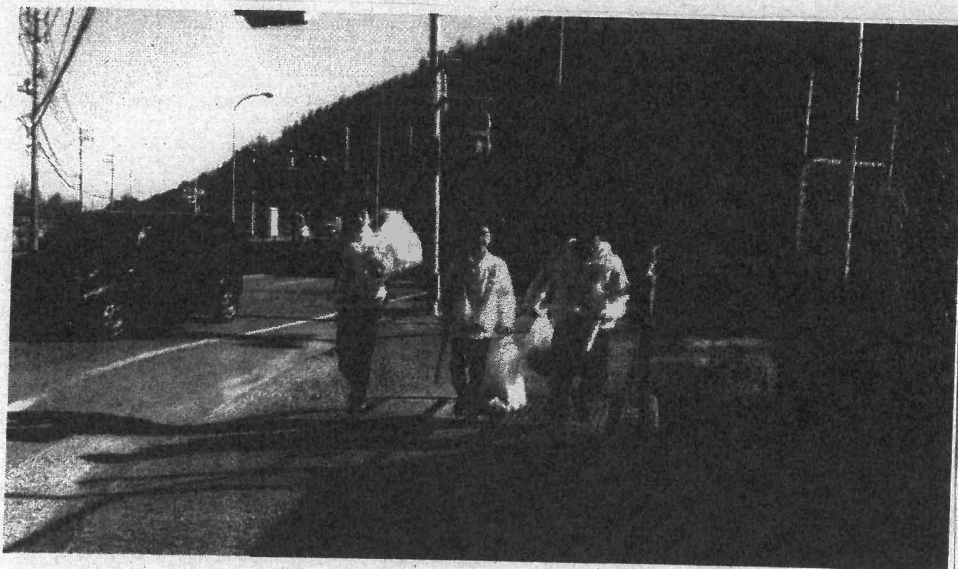
正直、効き目はよく感じました。団地内の情報系回が弱いので、情報が行きとどかなかったのが、共同清掃の時もあんまり来てくれなかった。

5 今後の^{こんご}展望^{てんぼう}など

^{こんご}今後自分たちの^{かつどう}活動をどのように^{つづ}続けていきたいかなど、^{じゆう}自由に書いてください。

とりあえず、また続けようと思っています。1年ほど思うようにできなかったので、影響を出せる位にはしたい。

6 活動の様子^{かつどうようす}がわかる絵や写真^えがあれば紹介^{しょうかい}してください♪



令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	80,000円	18,720円	
	合 計	80,000円	18,720円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	ポスター製作	40,000円	5,850円	カラー印刷B4 単価50円×15枚=750円 ラミネート加工B4 単価200円×15枚=3,000円 カラー印刷A4 単価50円×40枚=2,000円 白黒印刷A4 単価10円×10枚=100円
	消耗品費	40,000円	12,870円	カラー印刷A4 単価50円×20枚=1000円 白黒印刷A4 単価10円×10枚=100円 反射板 単価110円×3つ=330円 ちりばさみ 単価110円×2つ=220円 ポリ袋 単価110円×2つ=220円 ブルゾン 単価2750円×4枚=11000円
	合 計	80,000円	18,720円	

望みの望海作り 活動報告

～より住みよい団地に～

団体名:Co-CREATOR



ファンド参加者
リーダー:眞鍋柑太

メンバー:鎌倉琢飛
曾我翔大

交通事故のない優しさが溢れる団地にしたい

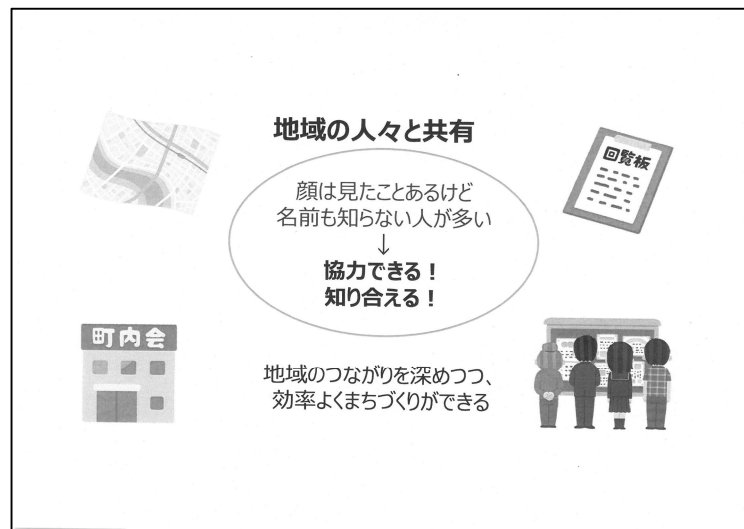
1. 事故の起こりそうな箇所をチェックし、何が必要かを考える。カーブミラーなど。
2. 交通安全や事故防止に関する啓発ポスターを作成し掲示板に貼らせてもらう



ゴミの落ちていない気持ちのいい団地にしたい

1. 月に一度、清掃を行い、ゴミの種類などの情報をまとめる
2. ゴミのポイ捨てや分別に関する啓発ポスターを作成し掲示板に貼らせてもらう





ゴール：地域に笑顔が増えること

目標：美観、安全、交流への意識付け

活動の目標：

- 清掃活動
- ポスター掲示や回覧版
- 安全マップなどの情報まとめ
- 地域でのイベント

ゴール：地域に笑顔が増えること

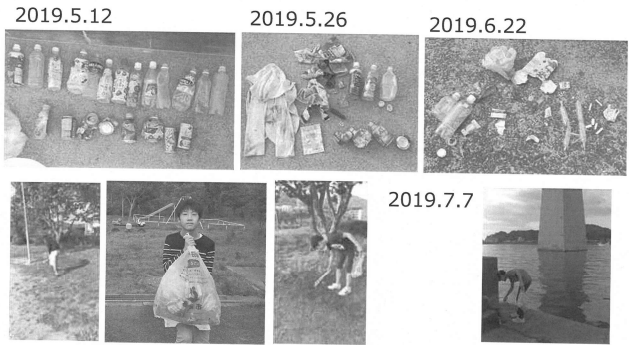
目標：美観、安全、交流への意識付け

活動の目標：

- 清掃活動 ◎
- ポスター掲示や回覧版 ◎
- 安全マップなどの情報まとめ ×
- 地域でのイベント ×

活動日	取り組み	活動日	取り組み
5/12	清掃★	8/18	清掃
5/26	清掃	9/22	清掃
6/16	審査会★	10/13	清掃
6/22	清掃	10/20	清掃★
6/27	地区会への報告	11/17	清掃
7/7	七河川一斉清掃	1/12	清掃★
7/24	清掃	2/12	清掃★

三人のタイミングが揃う日が少なかった



2019.7.21



2019.8.18



2019.9.22



2019.10.13



2019.10.20



2019.11.27



2020.1.12



2020.2.12



ポスター



回覧板【地域へのフィードバック】



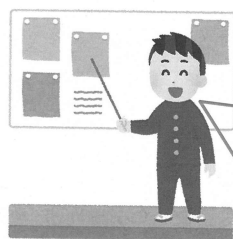
取り組んで分かったこと

- ・掃除してもすぐにゴミが落ちている
- ・見えないところに捨てる人もいる
- ・ゴミ箱がないことで公園内にゴミが散乱
- ・ポスターだけでは伝わらない
- ・呼びかけに応じてくれる大人もいた



反省と課題

- ・三人が揃わないためもっと人数が欲しかった
- ・同級生、学校、地区と広げられなかった
- ・もっと呼びかけを積極的にすればよかった
- ・ファンドだったがお金をあまり使わなかった



交通安全が気になった
ゴミが落ちていれば拾いたい
これまでとは見え方が変わった

特に最後の清掃では
地区の人も手伝ってくれた。
自分たちもそういうふうになりたい。

お金はあまり使えなかったけど
心のファンドを経験できたと思う